

あなたが進ぐ!!

ワンコイン  
IN ウェスティ



名作劇場  
vol. 29

映画が最高の娯楽であったあの頃...不朽の名作がウェスティ大ホール  
スクリーンで7月13日(土)の1日だけ蘇ります。  
忘れかけていた大切なものを思い出させてくれる、心を揺さぶる感動作品。  
是非この機会をお見逃しなく!

# ニュー シネマ パラダイス



映画から夢が広がった 大切なほくろの宝箱。

1989年カンヌ国際映画祭  
審査員特別大賞受賞

PRIZ SPECIAL DU JURY FESTIVAL INTERNATIONAL DE FILM CANNES 1989

1989年ダウインドアイトナショナルオーディオ賞音楽賞受賞  
(エンニオ・モリコーネ)

製作/フランコ・クリスタリ

監督/脚本/ジュゼッペ・トナトーレ

撮影/ブラスコ・ジヤコニ

美術/アントニア・チヂョニ

音楽/エンニオ・モリコーネ、編曲/マシモ・マシ

フィリッポ・ワレリニ、ジャック・ペラン  
サルヴァトーレ・カシオ、ルネ・ボルドー、ロジェ・スタブベッラ、マッシモ

Produced by FRANCO CRISTALDI

Written and Directed by GIUSEPPE TORNATORE

Director of Photography BRASCO GIACONI

Production Designer ANTONIA CRISANTI

Music by ENNIO MORICONE

Editor MARIO MORA

CAST PHILIPPE NOIRET, JACQUES PERRIN

SALVATORE CASICIO, LEOPOLDO TRIESTE, PUPILLA MAGGIO

© 1989 by Westy O.G.B.C. All Rights Reserved. 大阪ガス株式会社

## NUOVO CINEMA Paradiso



字幕版  
デジタル・レストア・バージョン  
上映時間約124分 © 1989 CristaldiFilm

### 2024年7月13日(土) 上映開始 13時30分 (13時開場)

会場：堺市立西文化会館 1階 ウェスティホール

〒593-8324 堺市西区鳳東町6丁600

チケット：前売券 ... **500** 円 (税込) 自由席 500席限定

当日券 ... 700 円 (税込)

※未就学児の入場不可 ※チケットご購入後の返金はいたしかねます。

直接購入：堺市立西文化会館 (ウェスティ) 6階受付

※月曜日休館 (祝日の場合、直後の平日休館)

チケット予約：電話 072-275-0120 メール [kouza-westy@ogbc.co.jp](mailto:kouza-westy@ogbc.co.jp)

予約後、1週間以内に堺市立西文化会館6階もしくはセブンイレブン (要手数料) にて

お支払いください。※お支払いが遅れますとチケットを購入できませんのご注意ください。

インターネット予約：事前の会員登録 (無料) が必要

→ <https://www.westy-ogbc.jp/ticket/>

～状況に応じた新型コロナウイルス感染対策を行います。～

主催・お問合せ 堺市立西文化会館 (ウェスティ) 指定管理者：大阪ガスビジネスクリエイト(株) <https://www.westy-ogbc.jp> TEL:072-275-0120

便利なメール予約はこちら→





# ニュー シネマ パラダイス

フィリップ・ノワレ/ジャック・ペラン  
サルヴァトーレ・カシオ

制作/フランコ・クリスタルディ  
監督・脚本/ジュゼッペ・トルナトーレ

提供=フジテレビジョン  
ヘラルド・エース  
俳優座シネマテン

配給:ヘラルド・エース、日本ヘラルド映画 



## 世界の映画人が絶賛！

### 新人の29歳G・トルナトーレに拍手！

イタリア映画界に久々に大型の新人が登場した。弱冠29歳のジュゼッペ・トルナトーレである。シチリア出身のトルナトーレは、数々の優れたドキュメンタリー映画を演出した後、ベン・ギャザラ主演の『教授と呼ばれた男』(87)で長篇劇映画の監督としてデビュー。"教授"と呼ばれた男が刑務所に居ながらイタリア全土を支配する地下犯罪組織のボスになっていく過程を、冷徹なタッチで見せ場たっぷりに描き、処女作ながら並々なぬ力量を示した。

この『ニュー・シネマ・パラダイス』は、トルナトーレの監督第2作で、89年のカンヌ映画祭で正式出品作として上映されるや、カンヌ中を笑わせ、泣かせ、見事に審査員特別大賞に輝いた。またグランプリ作品の『セックスと嘘とビデオテープ』(89)の26歳のスティーブン・ソダーバーグ監督と並んで若手の台頭と騒がれた。

## フィルムは回り トト少年の夢は広がる

『ニュー・シネマ・パラダイス』の舞台は、戦後間もないシチリアの小さな村である。この村の唯一の娯楽の場は、パラダイス座という映画館だ。主人公のサルヴァトーレ少年は、イタリアの喜劇王にちなんでか、トトと呼ばれている。そのトトは親の目を盗んでは映画館に通いつめていたが、彼の心を魅了したのはフィルムの宝庫である映写室とそれを操る映写技師のアルフレードだった。始めのうち頑固者のアルフレードは、映写室という聖域から進入者のトトを追い出そうとするが、やがてふたりの間に不思議な友情が芽生える…。

トトとアルフレードの愛あふれる関係、フェリーニの『アマルコルド』(74)を思わせる一癖も二癖もある映画館の常連たち、青年期のトトの初恋と失恋、そうしたトトと彼をめぐる人々の思い出が、ユーモラスにそしてノスタルジックに描かれる。

## 映画への愛に満ちた感動作 全篇に甦る名画の数々！

もうひとりの重要な主人公、パラダイス座で上映される映画も、時代の変遷を物語って興味深い。

ジャン・ルノワールの『どん底』(36)やルキーノ・ヴィスコンティの『揺れる大地』(48)のキスシーンは当時の検閲でカットされて上映されるが、50年代に入って上映されるシルヴァーナ・マンガノ主演の『アンナ』(51)では堂々とキスシーンを見せ、観客たちが固唾を飲んで見つめるシーンは見どころだ。さらにロジェ・ヴァアディムの『素直な悪女』(56)では、シネスコのスクリーンいっぱいにB・Bの裸体が映し出され、時代の色を出している。ネオ・レアリズモ映画から西部劇、そしてメロドラマに至るまで、懐しい名画が総勢数十本！ 自称映画ファン、映画フリークのあなたは、いったい何本タイトルがわかるかな？



## 名優と新人の ベストコンビネーション

主役の映写技師アルフレードを演ずるのは、『地下鉄のザジ』(60)のフィリップ・ノワレ。頑固だが心優しい面も持ち合わせるといふ難しい役を見事に演じている。また中年になったサルヴァトーレ役には『ロシュフォールの恋人たち』(67)のジャック・ペラン、そしてその少年時代と青年時代の役を、それぞれサルヴァトーレ・カシオとマリオ・レオナルディが好演している。特にカシオ少年の名演技は見るものに大きな感動を与えるに違いない。

他に『イタリア不思議旅』(88)でデビューした新進女優アニューゼ・ナーノ、『アマルコルド』のペペッラ・マジヨ、『青春群像』(53)のレオポルド・トリエステらが脇を固めている。

撮影は『教授と呼ばれた男』のプラスコ・ジュラート。音楽は『1900年』(76)『アンタタッチャブル』(87)の名匠エンニオ・モリコーネ。美術は『ノスタルジア』(83)のアンドレア・クリザンティ。

(上映時間：2時間4分)

## 堺市立 西文化会館 (ウエスティ)

(指定管理者 大阪ガスビジネスクリエイト株式会社)

〒593-8324 堺市西区鳳東町6丁600 TEL : 072-275-0120

開館時間：9時～22時

月曜日休館 ※月曜日が祝日の場合は開館、その直後の平日が休館日

